

## 第 65 卷 第 2 号 執筆者紹介

- 藤谷 武史  
主著  
1976 年生．東京大学社会科学研究所准教授  
「《多元分散型統御》とは何か？—法（政策）学への貢献の可能性」『新世代法政策学研究（北海道大学）』20 号（2013 年）113-170 頁  
「企業・投資活動の国際的展開と国家」『公法研究』74 号（2012 年）100-111 頁  
「財政制度をめぐる法律学と経済学の交錯—法律学の立場から—」『フィナンシャル・レビュー（財務省財務総合政策研究所）』通巻第 103 号（2011 年）3-24 頁  
「非営利公益団体課税の機能的分析—政策税制の租税法学的考察（一）～（四・完）』『国家学会雑誌』117 巻 11・12 号 1021-1129 頁（2004 年），118 巻 1・2 号 1-110 頁，118 巻 3・4 号 220-322 頁，5・6 号 487-599 頁（2005 年）
- 原田 大樹  
主著  
1977 年生．京都大学大学院法学研究科准教授  
『自主規制の公法学的研究』（有斐閣，2007 年）  
『例解 行政法』（東京大学出版会，2013 年）  
『演習 行政法』（東京大学出版会，2014 年）  
『公共制度設計の基礎理論』（弘文堂，2014 年）  
「福祉契約の行政法学的分析」法政研究 69 巻 4 号（2003 年）765 頁以下  
*Special Economic Zones as a Governance Tool for Policy Coordination and Innovation*, 31 J.JAPAN.L 205 (2011)  
「震災復興の法技術としての復興特区」社会科学研究 64 巻 1 号（2012 年）174 頁以下  
「行政法学から見た原子力損害賠償」法学論叢 173 巻 1 号（2013 年）1 頁以下  
「行政法総論と参照領域理論」法学論叢 174 巻 1 号（2013 年）1 頁以下  
Atomenergie: Freund oder Feind des Gemeinwohls?, DÖV 2014, S.74ff.
- 村西 良太  
主著  
1980 年生．大阪大学大学院高等司法研究科准教授  
『執政機関としての議会』（有斐閣，2011 年）
- 興津 征雄  
主著  
1977 年生．神戸大学大学院法学研究科准教授  
『違法は正と判決効—行政訴訟の機能と構造』（弘文堂，2010 年），『ヨーロッパという秩序』（共編著，勁草書房，2013 年）
- 浅野 有紀  
主著  
1969 年生．同志社大学司法研究科教授  
『法と社会的権力』（岩波書店，2002 年）  
「権利と法秩序—自己決定権論の一側面」民商法雑誌 134 巻 3 号，1-35 頁（有斐閣，2006），「社会保障法制度の再構築—不法行為法との比較の観点から」井上達夫編『現代法哲学講義』（信山社，2009）所収 165-188 頁，

「法多元主義と私法」平野仁彦他編『現代法の変容』（有斐閣, 2013）1-25 頁.

- 那須 耕介  
主著 1967 年生 . 京都大学大学院人間・環境学研究科准教授  
「法の支配を支えるもの」(『摂南法学』第 25 号, 2001 年)  
「政治的思考という祖型——政策学的思考はどこから出てくるのか——」(足立幸男編著『政策学的思考とは何か』勁草書房, 2005 年)  
「遵法責務論再考 (一)」(『摂南法学』第 33 号, 2005 年)  
「公教育における自由と平等について」(『摂南法学』第 40・41 合併号, 2009 年)  
「市民社会とその非政治的基盤について——市民の自由と公民の徳——」(『市民／社会の役割と国家の責任 法哲学年報 2010』, 2011 年)
- 横溝 大  
主著 1970 年生 . 名古屋大学大学院法学研究科教授  
「抵触法と国際法との関係に関する新たな動向—抵触法と国際法との合流について」法律時報 85 卷 11 号 (2013 年) 26 頁  
「国際倒産と租税」日本国際経済法学会編『国際経済法講座 II 取引・財産・手続』(法律文化社・2012 年) 248 頁  
「国際裁判管轄における緊急管轄について」法曹時報 64 卷 8 号 (2012 年) 1 頁  
「抵触法の対象となる『法』に関する若干の考察—序説的検討—」筑波ロー・ジャーナル 6 号 (元永和彦教授追悼論文集) (2009 年) 3 頁
- 小畑 郁  
主著 1959 年生 . 名古屋大学大学院法学研究科教授  
「ヨーロッパ人権条約実施手続の司法的純化についての一考察」『国際法外交雑誌』98 卷 1 = 2 号 (1999 年)  
「国際責任論における規範主義と国家間処理モデル」『国際法外交雑誌』101 卷 1 号 (2002 年)  
「近世ヨーロッパにおける外国人の地位と本国による保護」田畑茂二郎先生追悼『国際社会の法構造：その歴史と現状 (21 世紀における人権と平和：国際法の新しい発展をめざして 上)』(東信堂, 2003 年)  
「日本の占領管理と「革命」に対する官僚法学的対応」『思想』1020 号 (2009 年)
- 大西楠・テア  
主著 1982 年生 . 駒澤大学法学部法律学科専任講師  
「ドイツにおける外国人の地方参政権—基本法 28 条 1 項 3 文と外国人参政権違憲判決の法理—」(国家学会雑誌 121 卷 5・6 号 (2008) 587-646 頁)  
“Staatsgründung durch Vertrag. Die Diskussionen über die vertragsmäßigen Elemente der Deutschen Reichsverfassung (1871)” (Karl Riesenhuber / Kanako Takayama (Hrsg.) Funktion des Vertrags, nomos 2013, S.15-25)
- 松尾 隆佑 1983 年生 . 法政大学政治学研究科博士後期課程